

市政ニュース

外国人観光客誘客促進の取組み

M-T(World travel market)NO-09(6F)展びこ訪問

市は、外国人観光客誘致事業の一環として、11月4日から7日まで、ロンドンで開催された欧州最大規模の旅行博「WTM 2013」に出展しました。

日本ブースには、豊岡以外に、東京、大阪、京都、沖縄が出展しました。

本市からは、真野副市長と職員、城崎温泉関係者が参加し、城崎温泉など豊岡市の販売促進活動を行いました。

また、「WTM2013」終了後は、豊岡への誘客に向けたネットワークづくりのため、JNTO(日本政府観光局)パリ事務所やパリ市の観光案内所、兵庫県国際交流協会、パリ事務所を訪問しました。

日本からヨーロッパに対する誘客活動はアジアに比べて未開拓で、潜在需要が大きいことを確認しました。そして、豊岡・城崎は、「世界一のシェアを持つ英語版旅行ガイド



▲法被姿で商談する真野副市長

「Lonely planet」でナンバー1の温泉の町に選ばれているという一言で、京都・大阪を訪ねる外国人観光客の心をつかめるとも分かりました。さらに、JNTOの海外報道機関8社のツアーを来年2月に誘致することができました。

今後、①京阪神を起点とした外国人観光関係者との連携②外国人向けの豊岡観光ルートづくり③海外向けホームページの充実④JNTOや自治体国際化協会、県パリ事務所などの連携により、外国人観光客促進を図ります。

念願の全線開通を祝う

国道426号豊岡バイパス開通式開催

12月1日、国道426号豊岡バイパス開通式を開催しました。

このバイパスは、豊岡病院

前交差点(戸牧)から円山大橋西詰交差点(九日市下町)までの約1.5キロメートルの区間で、市中心市街地の交通渋滞解消と豊岡病院へのアクセス向上を図る道路です。平成14年度に工事着手し、このほど、最終工区の第3工区工事(JR山陰本線と立体交差する区間)が完成し、全線開通しました。

式典には行政や地元関係者

地域が守る公共交通

「チクタク合橋」出発式開催

「チクタク」は、地元関係者で組織する運営協議会が主体となって運行する「地域の、地域による、地域のための」公共交通です。

12月2日、市役所但東支所で「チクタク」市内4例目の「チクタク合橋」の出発式が行われました。

などが参列し、テープカットの後、八条小学校音楽クラブを先頭に、約350人が通り初めを行いました。

今後、このバイパスは、北近畿豊岡自動車道につながる予定で、地域の活性化にも大きく貢献します。



▲国道426号豊岡バイパス通り初めの様子

式典

の後、関係者が見守る中、第1便が出発しました。



▲出発式でのテープカット

主な市政の動き

11月

- 11日・豊岡市秋の美術展(22日)
- 18日・若狭・丹後・但馬中日本海交流会議
- 19日・2012「植村直己冒険賞」特別賞受賞者トクシヨウ等(20日)

- 22日・仲田光成記念 豊岡全国かな書展(24日)
- 25日・市政懇談会(城崎)
- 城崎国際アートセンター「プレ事業」平田オリザ「まちかどリーダーイングリ」

- 26日・26日、12月17・18日)宇宙教育出前授業(27日、12月2・3日)
- 28日・豊岡市消防本部年末警戒発隊式
- 29日・市議会開会(12月25日)

12月

- 1日・とよおか景観フォーラム2013
- 2日・「チクタク合橋」出発式
- 10日・新潟県三条市に避難している東日本大震災被災者へ贈り物発送
- 除雪隊発隊式

～市長と語る～ 女性いきいきトーク

女性限定 参加者募集



市長が「豊岡のまちづくり」について語ります。
あなたの「豊岡への熱い思い」を、ぜひ聞かせてください。
参加資格は女性であること。一人でも、二人でも、気軽にお越しください。

◆**対象者** 市内在住、在勤または在学の女性（おむね16歳以上）※個人を対象

◆**内容**

中貝市長が豊岡市のまちづくりなどについて話した後、皆さんの感想を聞き、意見交換します。市長の話以外の質問・提言も伺います。

◆**募集人数** 30人程度

◆**開催日時・場所**

◆**申込方法** 住所、氏名、連絡先(電話番号、ファックス、メールアドレスなど)を記入の上、郵送、ファックス、またはメールで申し込みください。

◆**申込期限** 1月15日(水)

《**申込み・問合せ**》

秘書広報課広報・交流係

☎23-1111 FAX24-1004

メールアドレス kouhou@city.toyooka.lg.jp

日程	時間	場所
1月25日(土)	10:00～11:30	豊岡市役所竹野支所

※豊岡市役所、城崎・日高・出石・但東支所での開催は、2月を予定しています。



▲書初めで「年」を書く玄さん



平成26年元旦 豊岡市マスコット「玄岩の玄さん」

▲石工職人として、「但馬」を彫る玄さん

2014年の年賀状用イラストとして、今年も市のマスコット「玄岩の玄さん」のイラストを作成しました。多くの方に利用していただくことで、豊岡市をPRします。

「玄岩の玄さんと一緒に
新年を祝う」
年賀状用の「玄岩の玄さん」
イラストを作りました

中貝市長の徒然日記 ⑦④

台風23号始末記

平成16年の台風23号からの復旧は、膨大な作業でした。国の補助事業の多くはルール上、平成17年度末には完成させなければなりません。が、川の工事は6月から10月の間に行えないことになっていて、しかもその冬は大雪で、土木工事ができるような状況ではありませんでした。

多くの川に関する工事が、未完成のまま4月を迎えてしまいました。補助金は既に国から受け入れていました。

平成18年4月中旬、職員が市長室にやってきました。「実は工事は完成していません」「なに！では、補助金は返還しろ！」私はどなりました。「できません！」なぜだ？

ルールは、工事を中断し、未完成部分は補助金を返還し、改めて市で予算化することです。しかし議会の議決は早くても6月。しかも川の工事は10月までできません。その間にまた台風が襲って、復旧が未完成で無防備な部分がやら

れてまた被害が出たら市民に申し開きができない。議論は延々と続き、最後に決めました。「分かった。安全を優先だ。工事は続行しろ。完成を急げ。しかしどうせばれる。そのときは、責任を取る」

平成18年、別の市で同様の事実が発覚し、豊岡にも目が向けられました。職員には、「絶対うそをつくな」と言い渡し、記者会見を行い、事情を説明しました。新聞には、「豊岡市不正受給」というみだしが躍りました。すぐに県と国土交通省、会計検査院におわびに行きました。「どのような処分も受けます」

結局、「工事は必要な工事だった。が、事務処理は不適切」として、事務への補助126万円のみ返還、ということになりました。私は自分の給与全額を1カ月カットしました。

数日後、散髪に行きました。帰りに代金を払おうとすると、首を振っています。「あなたからはいただけません」泣きそうな思いで、家路に就きました。